

万平ホテル「アルプス館」 国の登録有形文化財に登録へ

森トラスト株式会社（本社：東京都港区 社長：伊達 美和子）および、子会社である株式会社万平ホテル（本社：東京都港区 社長：酒井 茂）は、万平ホテル「アルプス館」が、2018年7月20日に開催された文部科学省文化審議会の答申を受け、今後行われる官報告示を経て、登録有形文化財への登録が正式決定される見込みとなりましたのでお知らせいたします。

和洋の意匠性と近代設計を融合した「アルプス館」

1894年に創業した万平ホテルは、軽井沢の地で国内外の賓客を迎え続ける、日本の西洋式ホテルの草分けの一つともいわれるクラシックホテルで、来年で125周年を迎えます。

今回、登録有形文化財へ登録される見込みとなった「アルプス館」は、1936年に竣工した、客室、メインダイニングルーム、サロン、バーなどからなる木造3階建ての建造物です。軽井沢の景観に調和したハーフ・チンバー風の外観意匠や、和洋折衷の室内意匠などから、戦前・戦後を通じ、現在に至るまで数多くの著名人や政界人等に愛されてきました。

また、意匠面のみならず、近代的な構造・材料を積極的に使用した独自の設計により、日本の木造建築の近代化を試みた建造物として高い評価をいただいています。

森トラストグループの事業理念 ～歴史・文化を継承し地域の新たな魅力を創出～

森トラストグループは、ホテル&リゾート事業において、歴史的資源や文化財等の保存・活用を通じた、日本の伝統や文化の再発見と地域の新たな魅力の創出をコンセプトの一つとして、世界に誇れる日本の新たなディステイネーションの創造を目指しています。

今後とも各地域の歴史ある物件の価値を後世に紡ぎながら、広く世界の旅行者に本物の魅力を発信し、日本の観光先進国化および地方創生に貢献してまいります。

* 登録有形文化財(建造物)とは

原則、建設後50年を経過した歴史的建造物のうち、国土の歴史的景観に寄与している、造形の規範となっている、再現することが容易ではないという登録基準によって国が登録する建造物。文化審議会から文部科学大臣への答申後、文化財登録原簿への登録、官報への告示を経て正式登録される。



アルプス館 外観



メインダイニングルーム

万平ホテルについて

万平ホテルは、避暑地軽井沢とともに一世紀を超える歴史を歩み続けるクラシックホテルで、1894年（明治27年）の創業から来年で125年を迎えます。日本における西洋式ホテルの草分けのひとつとして戦前戦後を通じ名士を接遇しており、また、社団法人日本ホテル協会の発足当初からの会員として、社業のみならず業界発展のために活動を行ってきた歴史を有しています。1997年（平成9年）に森トラストグループと資本提携し、施設の改築やコテージの新築など新たな事業を続ける一方、歴史・文化の面で貴重な施設の保持・運営に力を注いでいます。

1936年（昭和11年）に建てられた「アルプス館」、クラシックタイプ・書斎タイプそれぞれの客室を備える「ウスイ館」など、庭園と豊かな軽井沢の自然に包まれる全109室の客室、創業時から受け継がれてきたレシビを生かし新たな味を創作し続ける「メインダイニングルーム」をはじめ、旬の食材を生かしたこだわりのお料理をお楽しみいただけるレストラン&バー、ジョン・レノンをはじめ多くの人に愛されてきた「カフェテラス」など、創業当時から変わらないおもてなしで、訪れる方々に快適なご滞在を提供しています。

所在地：長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 925

創業：1894年

客室数：109室（アルプス館、ウスイ館、アタゴ館、別館、コテージスイート）

登録有形文化財（建造物）登録対象物件 概要

名称：万平ホテル アルプス館

竣工：1936年6月

構造：木造（地上3階）

答申日：2018年7月20日

◇森トラスト株式会社に関するお問い合わせ先

森トラスト株式会社 広報部
TEL：03-5511-2255 E-mail：koho@mori-trust.co.jp

◇万平ホテルに関するお問い合わせ先

万平ホテル 広報担当 西澤
TEL：0267-42-1234 E-mail：promo@mampeil.co.jp

歴史的建造物を活用した森トラストグループの取り組み

■奈良「^{よしきま}吉城園周辺地区保存管理・活用事業」

名勝地「奈良公園」内に位置し、春日大社や興福寺・東大寺などの世界遺産に囲まれた希有な立地において、世界的な建築家である隈研吾氏の協力のもと、歴史的建造物や緑豊かな周辺エリアとの融合を図りながら再構築を行い、最高級インターナショナルホテルを中心とした施設開業を目指しています。



客室（イメージ）

■箱根・強羅「^{かんすいろ}強羅環翠楼」

1921年に建てられた旧三菱財閥岩崎家別荘を継承し、1949年に開業した高級老舗旅館で、1955年に昭和天皇・皇后両陛下がご宿泊された「錦華亭」など14の客室からなります。将来的には歴史を重ねた建築物や庭園の最適化を通じ、世界の富裕層が求める高級宿泊施設への再生を検討してまいります。



環翠楼 離れ「錦華亭」

■熱海・^{きのみや}采宮「山種寮」

熱海湾を臨む閑静な高台に立地する築80年以上の木造建築や、四季の移ろいを告げる和風庭園、湯量豊富な自家源泉を備えた約8,400㎡の敷地において、由緒ある土地の歴史を活かし、エリア初となる外資系ラグジュアリーホテルの開業を目指し、開発計画を進めてまいります。



山種寮 山門

■長崎・南山手「マリア園」

長崎湾を臨む南山手地区の高台に位置する、築100年以上の伝統的な建造物の保存・活用を通じて、インターナショナルラグジュアリーホテルの開業を目指し、森トラストとして初の九州での事業展開を推進してまいります。



マリア園 外観

※いずれも計画は現時点のもので、今後変更となる場合があります。